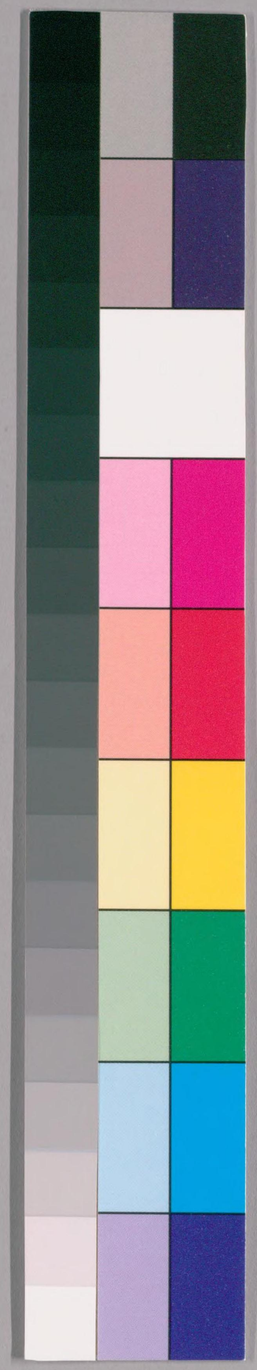
858
3
帝国図書館蔵書



国立国会図書館　タイトル『善悪かゞ見草』 請求記号 858-3

ガラス使用

二千六十　二冊　本宗

辰辰巳巳午午未未申申酉酉戌戌亥亥子丑丑寅

帝國圖書館

帝國圖書館

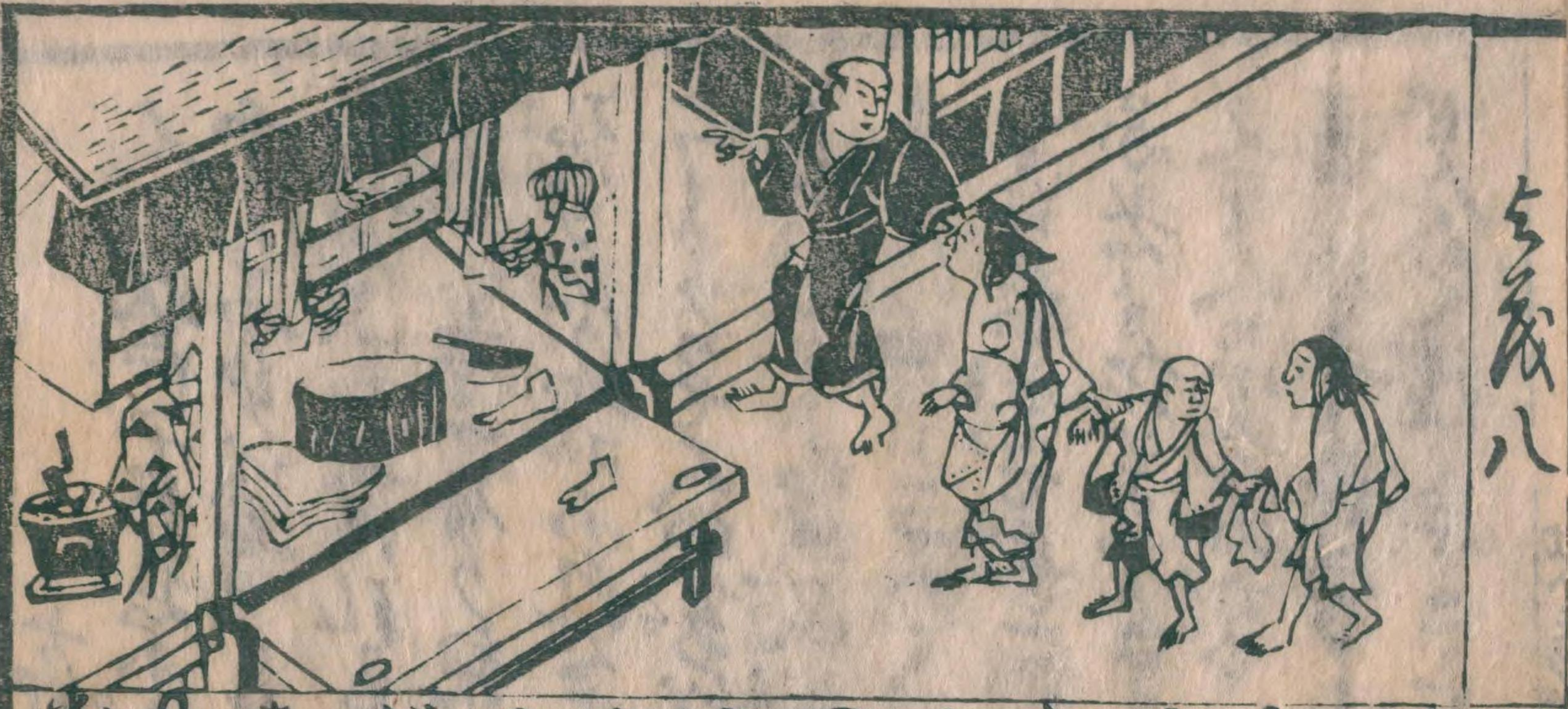
序

人の親として、おろかの止り子として、やまるおろかの猫も、まさりまさりの、いろ〳〵ありて、中にも、ひとしおまさりそむうぐるを、巻とし、旭小三枚八孔四人として、三冊巻とせんや、扨もたぐひおあれど、こたびの巻子有り、親の手まてゝおの枝ぶりによりたる事ながら、一人の白骨波さうとよりて、人の手おゝ、中巻を、つゞみ、義を、おもふ、人のうつりて、狐の妻足、とうふ、ぬかの、とうふやうに、おもふ、人のおろかの巻とせんや、善悪かゝる、巻ものゝ、いたづらに、ながきを、いとひ、短きを、あかず、ちやうどよきほどに、ひとまきに、したゝめて、名を、善悪かゝる見草と、いふのみ

亀屋豊岡板

国立国会図書館　タイトル『善悪かゝ見草』　請求記号 858-3

ガラス使用



大坂本町通にならびなき与兵八といふ者十三にて母におくれ父
[illegible]

唐土孟相(モウサウ)といふ人に秀郭(シウクワク)と云者あり
[illegible]

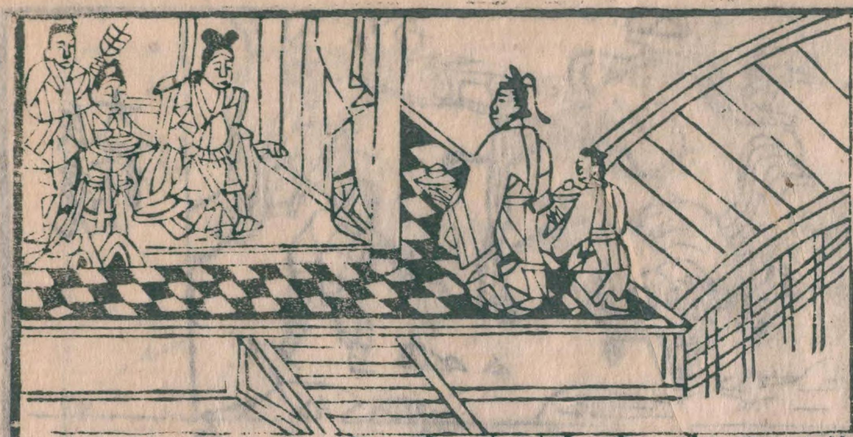
王裒

東家の城下に王裒といひし者ハ大海をこえひ人なりしか
たゞもち家来ある也之所以ヲ集まるかともから
例なしく海中を神りなる所の釣魚(サカナ)を獲[illegible]
むかいて今夜来まり盤(ノ)来たる川へゆきて何
なり来り中人と父の日今[illegible]ある[illegible]
わしと父ハ大きいふの重所変死ㇾ[illegible]
まんぞ多の帝の[illegible]まで[illegible]
いま事とえんで[illegible]
なり[illegible]川へ行[illegible]
ゆれども[illegible]
病に死付き一身[illegible]入れ[illegible]
川に志ざ所[illegible]
ただへこれ世年久敷苦しき死にたる

大舜

隊々耕春象　紛々耘草禽
嗣堯登宝位　孝感動天心

大舜ハいにしへの人也。父の名ハ[illegible]
とぞ。[illegible]して母かたくなにして[illegible]
[illegible]おごりて[illegible]
大舜[illegible]孝行[illegible]
と[illegible]孝行[illegible]
大象[illegible]
[illegible]
其時の天下の[illegible]堯王と[illegible]
つ[illegible]
英[illegible]堯王[illegible]大舜の孝行[illegible]
[illegible]
[illegible]孝行の[illegible]

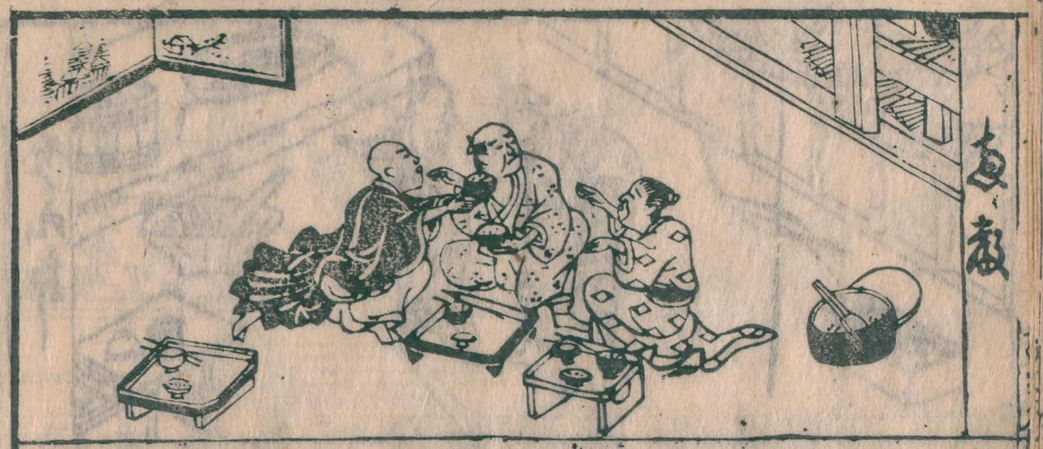


漢文帝

漢の文帝仁孝天下に徳を施し賢母薄太后に事へ孝行を盡せり文帝の母病に臥すや三年の間帯を解かず衣を改めず藥を嘗めて奉ず太后食を欲すれば文帝先づ食ひ太后寝ねざれば文帝敢て寝ねず太后の病癒ゆるに及んで文帝百官を集めて曰く朕仁義を以て天下を治めんと欲す今や匈奴邊境を侵し兵革已むことなし朕徳薄くして人を化すること能はず是れ百官の罪にあらず朕一人の罪なり願くは百官各々直言して朕が過ちを正せと群臣皆感じ奉りて曰く陛下の孝行既に天地に通ず何の過ちか有らんや願くは陛下の徳を以て天下の民を治めたまへと文帝猶謙遜して已まず

かくて文帝おのれの膳を減じ奢侈を禁じ民を愛し農を勧めたまひしかば天下大に治まり四海の内富み栄えて家ごとに蓄へ有り人ごとに余財有りて我が子お我と呼ぶ者なく我が親を親と呼ぶ者なく各々其の子を愛し其の親を敬ひ其の兄を尊び其の弟を親しみ其の夫を重んじ其の妻を敬ひ其の主人を恐れ其の師を貴ぶ事あたかも君臣の如くなりしとぞ

国立国会図書館　タイトル『善悪かゞ見草』　請求記号 858-3
ガラス使用



盂宗

守武

或る茶汲

洞滴朝風寒蕭々竹数羊

須臾春筝出天意報平安

盂宗ぶつをもちゐて父母の為に

多り母年もそだてけるとかや

りひもさびとなりける

事なるべし外よりの

まゐりものゝ

天竺の法のまゝ後世

きたる事一つ作りて

ぢそ年て作りまゐらせ

母よおさへ給りけるとぞ

をりてくるひとの

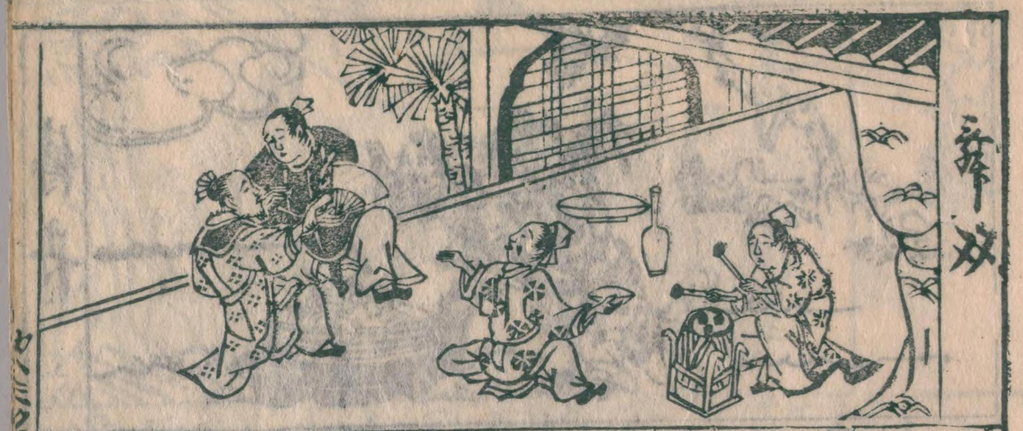
みろくん後りんじて天

国立国会図書館　タイトル『善悪かゞ見草』 請求記号 858-3

ガラス使用

丁子蘭

丁子蘭八河内の飛ま[illegible]こと云ふの人やけ[illegible]と
これ永わり[illegible]残り[illegible]と母めくらせ
ひけり今よりくめるごとくせり丁蘭をさごくの本
ありて夫[illegible]本像のありてをこがくれそだんまるがれて二月[illegible]ぬ実[illegible]のばまの
ら残[illegible]刀[illegible]そこまでるやうにろりて[illegible]る程
よ経[illegible]おびとよ残[illegible]ろ丁蘭[illegible]妻うこ[illegible]
像をよ通うを[illegible]妻うこ[illegible]
されど一枚の[illegible]よ南風の[illegible]
[illegible]像の[illegible]
[illegible]



舞双

南士[illegible]舞双と[illegible]
舞うたそ[illegible]
式ル時[illegible]
舞そり[illegible]
[illegible]
なり[illegible]
[illegible]
[illegible]

傳丹

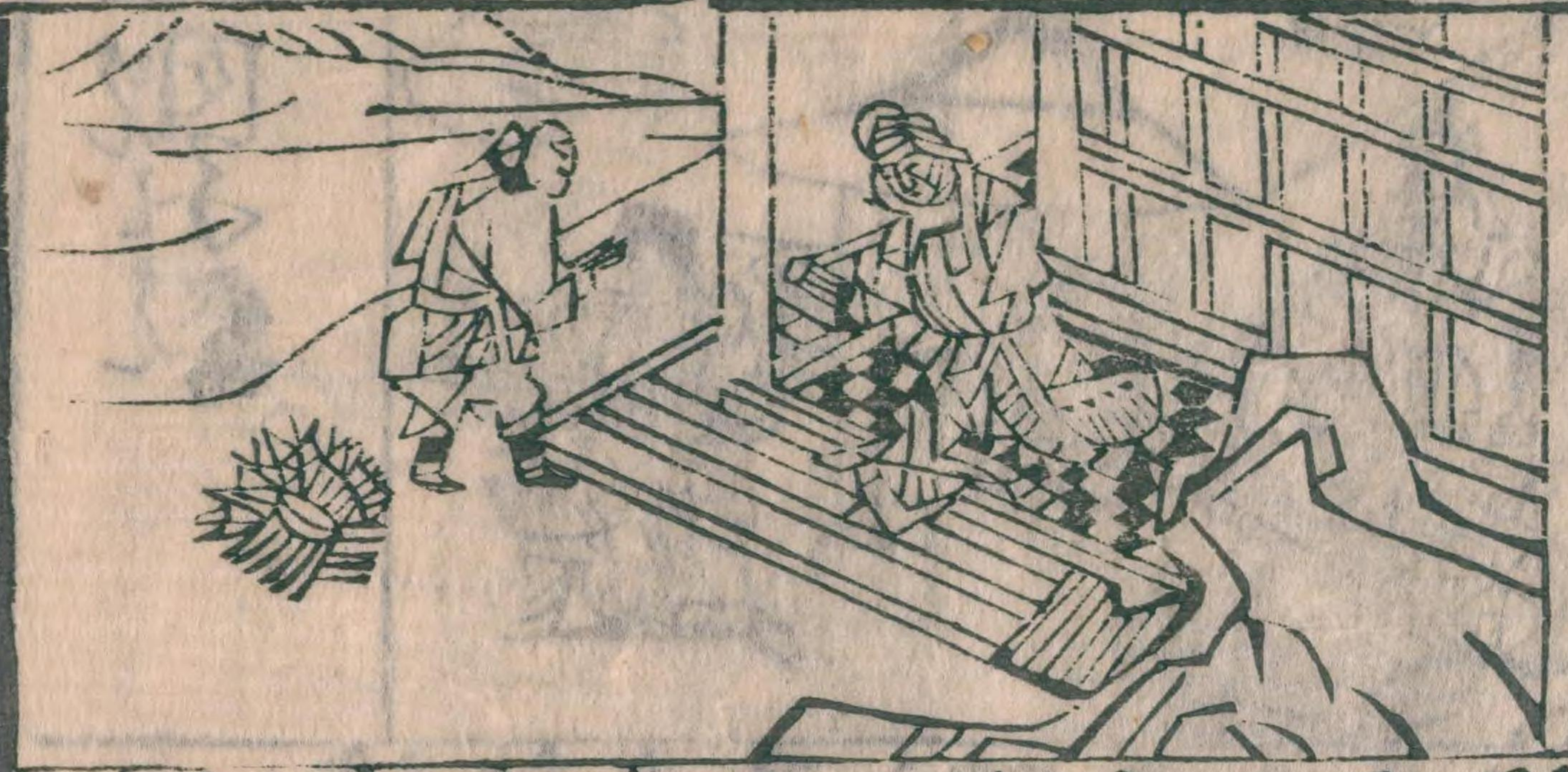
加賀國の傳丹と云ふ奥病ひ有ける者ありけるが
ある日とれびの口元にそゝの乳を
呑しむるまゝにありける程丹ひとり
うつくしき乳にそゝ嫉妬の心
おこりてそゝの乳を
一つそなの文の呑ませ
ぬ内にまりを七月ばかり
死をうそ天にわこゞれ地ぬ伸一ぬ
ぬべくぬ出地ぬうごちうちんと
大ぬ出ぬてぬぬくぬぬ
あれぬぬのぬくぬぬ
ぬまぬれぬぬぬぬぬぬ
けるとぬ

ひんしゃく図ふ鬱

ひんし
図氏有賢良何鬱恩娘
尊若菊岡母
在三子兎風家

ひんしゃんいものもの
そりこめそ二人のまの
くものしてぎるみそも
るそぎる物りれて
ひんしゃく図ふ鬱のみやうの
のよさむろへしぬ今
ぬぎぐれぬりぬ
ぬぐるべしぬそ文
ぬぐるべしてぬぬ
ぎそるくりりぬ
まぐんのぬぬ
ぬりのぬりけるぬ

国立国会図書館　タイトル『善悪かゞ見草』　請求記号 858-3
ガラス使用



曽参

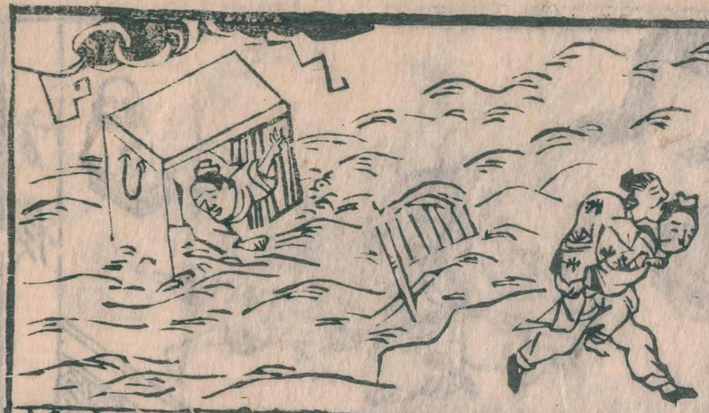
母指纔方齧　児心痛不禁
負薪帰来晩　骨肉至情深

曽参ある時山中へ薪をとりにまかりけるに、るすにしたしき友来りけり。母いかゞせんと思ひ給ひて、曽参かへれかしと我指をかみ給ひければ、曽参山にて薪をひろひけるが、俄にむなさわぎしけるほどに、いそぎ家に帰りたれば、母ありのまゝに語り給ふ。さればかほど遠き所にも親子の情深き故に、かく胸さわぎして帰り来れり。親子の情のふかき事、曽参の孝行によりて天下の人々にしらせんとなり。

方儲

東漢の方儲といふ人は幼少にて父に後れ、母一人を養ひ、田畑を作り[illegible]

[illegible]



恐雷

方今川の辺に恐雷と云ふ悪雷ありしとぞ其雷ひとたび鳴出ると其音百里の内外に響き渡りて人畜ともに驚き恐れ其声いまだ止まざる内にあるひは人を殺しあるひは牛馬を打殺すなどいと恐ろしき雷なりしが或時大夕立ありて雷鳴りしかば例の恐雷ならんと思ひ戸を閉て家内の者ども皆恐れ居たるに雷鳴り止みて後戸を開き見れば表の流れの辺に一人の女の死して居たるを見付けたり其女は何国の者とも知れず其辺の者ども集り来りて見るに女の着物は引裂かれ髪は乱れ其様いと凄まじく見えたり扨は恐雷の為に殺されしならんと評判せり

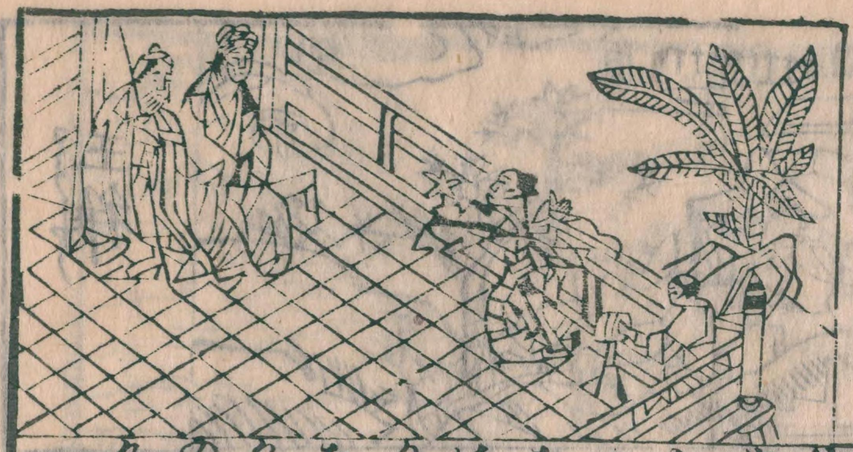
王祥

後母人を嗾而至レ今河水の氷上に臥王祥天を仰き歎ずれば忽ち氷解て双鯉躍出ると云ふ孝子伝の話なり

王祥幼くして母を亡ひ継母朱氏に事へて孝心怠らざりしかども継母王祥を憎みて殺さんと思ひ或時王祥を呼びて言ふやう我れ病にて生魚を食せんと思ふ汝河に行きて魚を求め来れと言ひつけたり王祥母の命なれば厳寒の頃なれども河に行き氷を破りて魚を求めんとせしに氷厚くして破ること能はず王祥氷の上に臥して天を仰ぎ歎ずれば忽ち氷解て双鯉躍出でたり王祥喜びて魚を取り帰りて母に与へたり母これを食して病全く癒えたり其後王祥の孝心を感じて天より黄金を与へたりとぞ

国立国会図書館　タイトル『善悪かゞ見草』　請求記号 858-3

ガラス使用



老莱子

蝕舞学嬌寒　春風動除夜
双親開口笑　喜色滿庭闈

老莱子は三人の親よりほかの人あるごとなし。七十にもなりて赤子のごとくかたちをのくがためにきらびをもあらそひてあそびつゝ舞ひあるきしことありけるとなり。

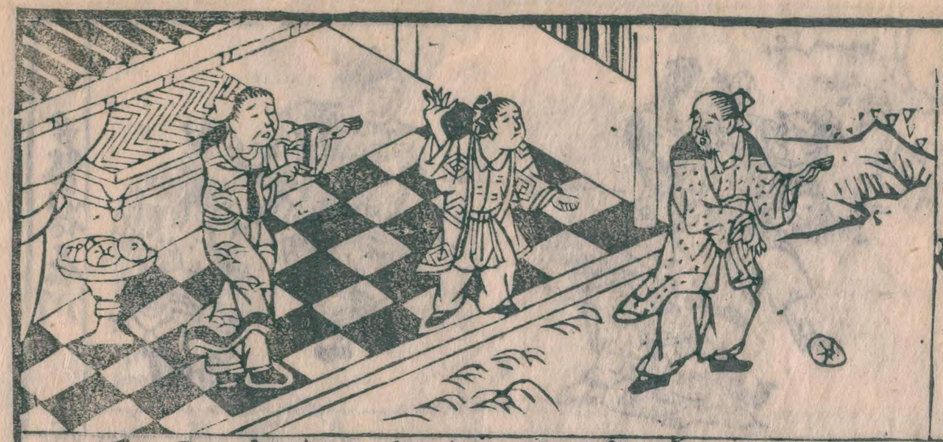
高位集

印の善図射とて赤白の矢をいれたるふくろを射てあたりしものに賞をあたふるなどまでもおもしろきことなりけるとなん。

高活

善悪かゞ見草

唐土梁孔の上和長林と云人の父を長川と云人殺害せしが其時父の年七歳なりしが母に抱かれて逃去りぬ其後長川が妻懐妊して一人の男子を産せり母子ともに成長するに随ひ母は常に彼の仇を報ぜんと思ひ居たりしが其子十歳の時母に向ひ父の仇を報ぜんと云ふ母聞て汝が父を殺せし長川は強勇の者なれば汝が力にては及ばざるなり其上彼は一族多ければ仇を報ずるは難かるべし其時を待て討べしと諭せども聞入ず日夜に怠らず武芸を励みしかば母も其志を感じ其時を待ける程に十余年を経て其子十六歳の時長川が一族を悉く討取て父の仇を報じ母の心を安んじたり其後梁孔の上和長林と云人の父を長川と云人殺害せしが其時父の年七歳なりしが母に抱かれて逃去りぬ其後長川が妻懐妊して一人の男子を産せり母子ともに成長するに随ひ母は常に彼の仇を報ぜんと思ひ居たりしが其子十歳の時母に向ひ父の仇を報ぜんと云ふ母聞て汝が父を殺せし長川は強勇の者なれば汝が力にては及ばざるなり其上彼は一族多ければ仇を報ずるは難かるべし其時を待て討べしと諭せども聞入ず日夜に怠らず武芸を励みしかば母も其志を感じ其時を待ける程に十余年を経て其子十六歳の時長川が一族を悉く討取て父の仇を報じ母の心を安んじたり其後

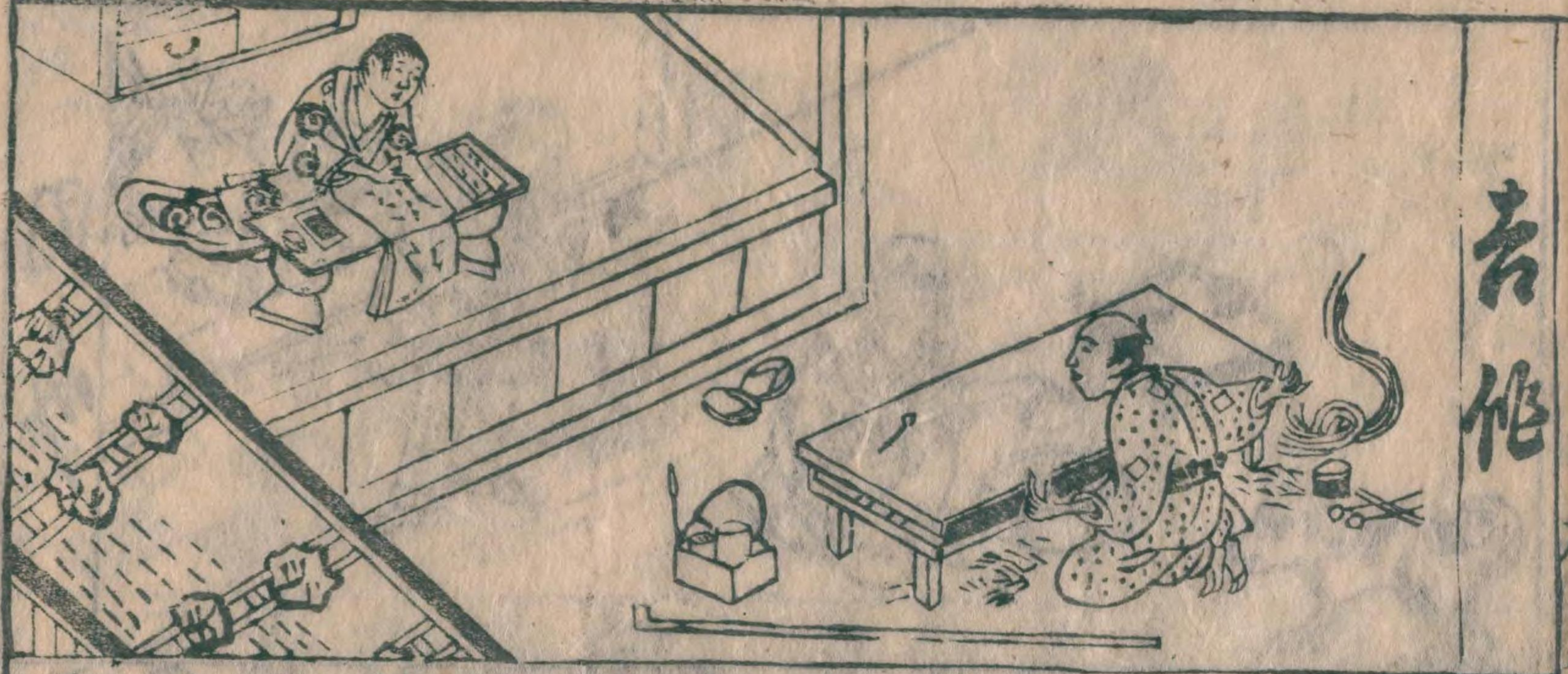


公儀

唐土陰徳と云ふ事有り其人の死めぐりに
人の死めぐりを知る事有り其人の極めたる
又いろ〳〵の死ぬ事有り其人の極めたる
よりの人でも陰徳有る人ぞの人でも陰徳
多くぞの人でも陰徳有る人ぞの人でも陰徳
さぐもの中の中の中の中の中の中の中の中の
其時他人のこゝろしる事
死ぬるとあり

関公

其本意変れ仏の一ト代
のおぐら有るが如くに
其人の悪心有る人有
の服一枚の為に人
代官所へ訴へ出
ろ〳〵人代出候
手金のうみのそ
ても人と極めて



小揚利足ハ人の知る所なれど今とてはふかく云ずして家に奉
更川小早成鉄高ゟ之を煮て片川は吉備とてもふかく云ハ立鉄を
[illegible]

[illegible]

国立国会図書館　タイトル『善悪かゞ見草』 請求記号 858-3

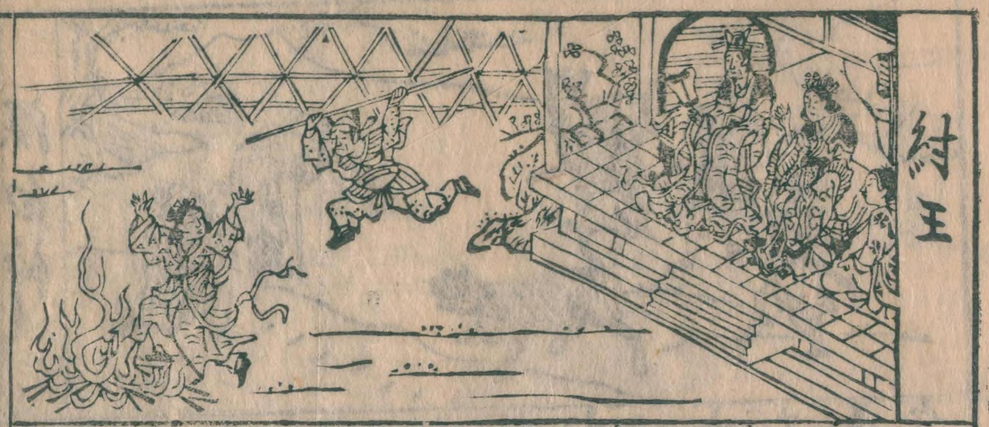
ガラス使用

狸拔

善悪

波そろ

陰陽師清明の式神車波ろを妻鏡をへんじて伴ひ
来ず妻恋ひ侘びてうかれ出でしを見つけ
たまひ清明の妹まもりの妻なれば
なんだくまぜそを納文に書
かせそくにつまをうりくる
女房にて来ると弁舌百
波ろを分大にうりたくもう
この人金子もみへ出でず妹
何ももくぐるも式にて
きず変じ波ろつぐ娘来合
人もつまりて後幕の式拘
妹ともかりとくひきもの
くる何ごもも清明
とくまづめありくると



紂王

申されうう王公高じれ清子くん出て民
せそびおごり紙拘ふ私いる
ご式ろ地れ六、そ式妻
聖狐男人と化ふ
帝そ老うくうう
寿妻き毎く式男
うくうきとたくるひあ
うんるとて女式切くる
せるひおり狐れそ
凡くやおう狐て
男きくくて一
一回孔ふ一四方
くくとれう狐ひ
うしるひ女式

国立国会図書館　タイトル『善悪かゞ見草』　請求記号 858-3
ガラス使用

深白仲

寒泉山のふもとに深白仲と云者或時父をつれ
山間へゆきけるに或時虎に父をとられ
白仲兄弟は是を見て山中の虎は我父母の敵也
此日ごろふかき恩人なれば是非もなくさりがたく
いかにも有難き事とて二人の者かなしみける
兄弟二人は毎日是を念じて捨よりは虎を尋ねん
と云て白仲曰今我よりひ三年にたらざれば
老たる母の役に立さうらふ事なし死たる父
たとへ世においてつゐに人の孫がかくも此みちを
やがて又此虎を見すてつき出したる武士ども
大に感じ人々もあはれみけりかゝる孝ある
事も人生にまれなる人かな
あゝかなしき事かな親の敵を報ずるは天道
なれば人々も虎の恐れをわすれとかし
かるかなしき事どもありや

姜詩

舎側井躍出　一朝双鯉魚
子能知事母　婦又孝於姑

姜詩は母に孝行なる人也母常に江の水を
のみたくおもひ又魚の膾をほしくおもひ
給ひけり姜詩は妻と共に六七里のみちをかよひ
て取て参らせけり又其の膾をよくくふとき
こしらへて隣の老母にもまねきくはせけり
ある時姜詩が家のかたはらにたちまちに泉
わき出て其あぢはひ江の水のごとく水中に
鯉あまたいできてまいにち母に参らせけり
かやうのふしぎなる事のありけるは夫婦
の孝行の心ざしをかんじて天道よ
りあたへ給ふなるべし

唐夫人

敬崔家の婢乳姑晨盥を
此恭にし報郭澤子孫如一
唐夫人八もうせ
くるゆへそのうちの
なさどとにをりつ
ゐりつゐ時長孫夫人
せんともひつ一家をあめめていつそひつさひハ死し
唐夫人の数年ハ
るゆへ通。我ゐ孫
てゐるゐりつゐ
ゐりやうにまうつ
るもとて。人みな
やそゐそれをあまりとさまで
もをくゐりなまやし

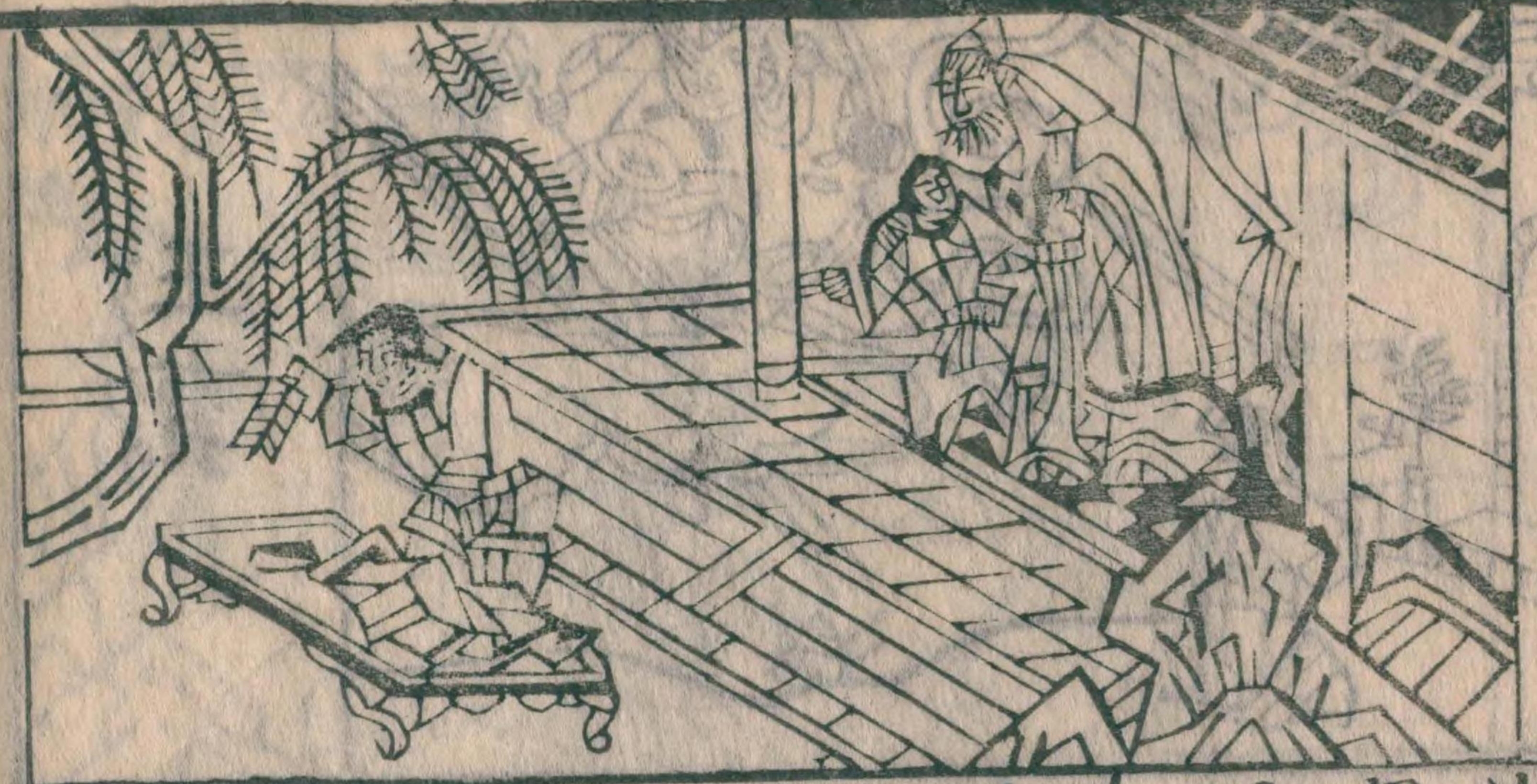
楊香

深山逢二白鬼一向郭勢如二父子一楊香ハひとりの女ニして
楊香ハひとりの女ニして悪ニ脱ニ免ニ終ニ口中一
ーありひとり我妻
主ともゆへゐハゐの
神つくハゐ金
さーをかうしてゐる
とゐひまひりう
うつうんやせ
ゐゐとで死しまし
ぬれゐくるく
魚ニ。孝行のゐ
さどくをなつ

董永

葬父貸孔兄　天姫陌上逢
織絹償債主　孝感動天名

董永ハいとまづしき時に母にをくれたる故いんみして
常にかやうにいとなみえんと見えし日陰後られた
ゞ父もちて足をたくはへ小車を作り父をのせて田の
あぜにおきて養ひしが父も時ちにをくれて葬礼を調
へんと思へどもまづしければ身をうりて
十貫文の銭をかりて葬礼をいとなみけり扨其後
銭主のかたへ行けるが途中にて一人の女に逢ぬ人董
永が妻になるべしとてともに行て一月のうちに絹三百疋
を織てつくのへりそれより宅をへんじて董永が
女かへりて後婦人董永にいふやうハ我ハ天上の
織姫なるが汝が孝をかんじて来りて
ひめ銭をつくのはせとて天にあがりけり



黄香

冬月温衾煖　夏天扇枕涼
児童知子職　千古一黄香

黄香ハ安陵といふ所の人なり九歳にして
母におくれて思ひふかくして父によくつかへせ
ざれども夜のさめてあけまで父にはなれず
又やしなひぬぐじめくの夏の
てあつき時ハ枕をあふぎて涼しくし
冬のさむき時ハ衾をあたゝめて
まことにかうかうなりて太守劉護と
いふ人これをかんじてあらはしけり
家もとより貧しくて人みな黄香が孝
を世の人感ぜずといふことなし

王裒

慈母性嗜雷聲每雷時一震則到墓遶之廻
王裒父儀墓在山東舊陵縣北二十里父歿葬於
其處墓前有柏樹二株王裒每至墓輒攀柏而哭
其聲悽切有感行人聞之皆為流涕
王裒事母至孝母嗜雷聲每雷則到墓遶之廻
王裒父儀墓在山東舊陵縣北二十里父歿葬於
其處墓前有柏樹二株王裒每至墓輒攀柏而哭
其聲悽切有感行人聞之皆為流涕

郭巨

郭巨
思仕
芳會
光教照
宝門

郭巨河内溫人也家貧養母妻生一子三歲每分母食減其子之半巨謂妻曰貧乏不能供養母子奪母食甚為不孫不如埋此子更得子可復也妻不敢違巨遂掘坑三尺忽得黄金一釜上有鉄券云賜孝子郭巨官不得收奪民人取之
郭巨河内溫人也家貧養母妻生一子三歲每分母食減其子之半巨謂妻曰貧乏不能供養母子奪母食甚為不孫不如埋此子更得子可復也妻不敢違巨遂掘坑三尺忽得黄金一釜上有鉄券云賜孝子郭巨官不得收奪民人取之

国立国会図書館　タイトル『善悪かゞ見草』　請求記号 858-3
ガラス使用

朱寿昌

七歳生離母　参商五十年
一朝相見面　喜気動皇天

朱寿昌ハ七さいの時父其母をさりたまへり。
ふたゝび其母をこひしたひけれども五十年
まであひ見る事なし。然れどもあはざる事五十
年なり。寿昌ハ官人となりけれども
そのこゝろざしをすてず。官職をもすてゝ
ゆくゆく母をたづねけれバ母にあひたてま
つらんとて、天にいのり、血をもつて経を書
経をかきて天道へ祈りけれバつゐに母にあひ
まみえけり。ふかき孝行の心ざしを
つねにあはれみ給ふなり

剡子

老親思鹿乳　身掛褐毛衣
若不高声語　山中帯箭帰

剡子ハ親のために命をもおしまず孝行
なる人也。其故ハ父母ともに老て両眼をうしなひ
ければ、鹿の乳をのみたく思はれけり。剡子ハ
孝なるこゝろなれバ、鹿の皮をきて鹿の中へまぎれ入けれバ
猟人見て、鹿の肌ぞと思ひて弓をいんとしけ
る。其時剡子ハ是ハ鹿にハあらず、剡子と云者なる
が、親の望をかなへんため鹿の乳をとる者なりと
ことはりけれバ、猟人おどろきて其ゆへを問ひけり。
孝行の志深きゆへ猟人もかんじ
て帰りけり。鹿の乳をもとめて親に
あたへければ、ついに孝行の心ざしを得たり

蔡順

黒椹奉親圖　啼飢泪滿衣
赤眉知孝順　牛米贈君歸

蔡次公汝南の人也王莽といふ人の時天下大に乱れ飢饉して食ものなし順母のために毎日野に出て桑の実を拾ひ帰りて母に食せしむ時よのつねの実にあらず甚しく酸し順母と共に食せざるをもて其来る所を問ふに対へて云ふ赤きは母に与へ黒きは我食すと母其実を口に入れて見るに甘美なる事常の実に異なり是を以て一升の実二升と半ばかりあり是をもて命を全ふする事を得たり

庾黔婁

庾黔婁ハ南郡の人也孝行にして父病に罹り日夜看病して寝ず父の病次第に重りて医師来りて診脈して云ふ今明日を過すまじと聞て黔婁ひそかに庭に下り北に向ひ天に祈て曰我父の病を我に移し給へと祈りけるが其夜より父の病次第に軽くなりぬ黔婁ハ次第に重くなりやがて死す

国立国会図書館　タイトル『善悪かゞ見草』　請求記号 858-3
ガラス使用

陸績（りくせき） 字公紀（あざなこうき）

孝悌皆天性　人間六歳児
袖中懐緑橘　遺母報含飴

陸績六さいの時、袁術といふ人の所へ行侍りしを、袁
術、陸績のためにくだものには橘をいだせり。陸績
是をとりて、袖にかくして帰らんとする時、袁
術は礼をいふとて、ひざまづきしかば、袖より
は家へかへり、母にあたへんため也と申しければ、袁
術これを見て、陸績は六さいなれども、母の事をわすれぬこ
とゝひ侍りければ、はたして孝行の人なりとて
はなはだかんじ侍りける。陸績は年をかさねて文学を
なしとげ、遠術をもちゐて、おほきなる紀をあらはし侍り
のちにいたりて古今まれなる人とほめたまふ。
ありとしてあまり天下の人のまなぶ孝のみちなりと
ぞいはれしなり

十

張孝（ちやうかう） 張禮（ちやうれい）

偶値二緑林賊一、代レ兄云二痩肥一
人皆有二兄弟一、張氏古今稀

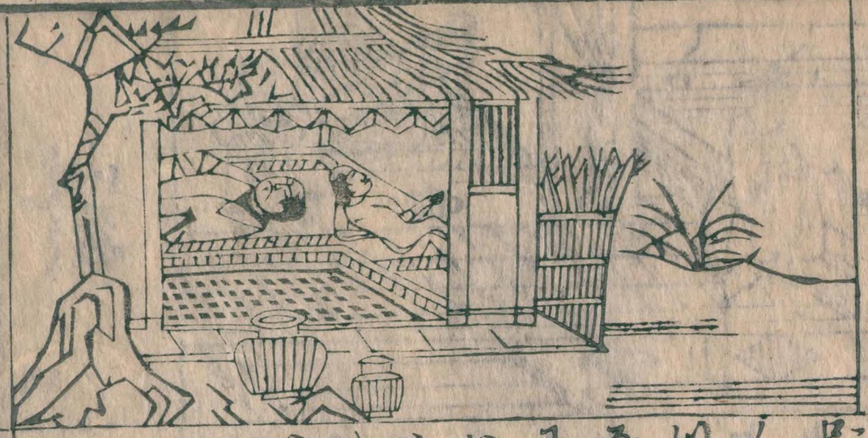
張孝張禮は兄弟也。世のうゑのときに八十にあまれる母
を養ひけるが、菜をとりにゆきければ、ぬす人出て張
礼をとらへて、ころさんとす。張孝これをきゝて、はしりゆきて
いふやう、母をやしなふ事は今日の事なり。ころさんとならば我を
ころし給へ、弟の礼はやせたり、我はこえたり、たべものには我こそよけれといひ
ければ、張礼は我こそころさるべけれといひて、たがひに
あらそひける。賊これをきゝて、かんじてたすけ、米・
酒・塩などをあたへて、かへしける。すなはちこれをもつて、
うゑにのがれ、母をやしなひけり。あにをとゝの孝
行のこゝろざしを、ぬす人もかんじたり。兄弟の孝を
しるべし。今の世にも兄弟の中古今まれなる孝を
なしてこそ、あにをとゝの身にそなはれる孝なり。
ふかきこゝろを見て、まことの孝をなすべし

十一

田真 田廣 田慶

海屋紫珊瑚群芳独不如
春風花滿樹兄弟復同居

いにしへ三人兄弟ありて財宝を分ちとるにのぞみ
のこる所の木を切てわかたんとしけるに
切ければ枯れ切ざれば栄ゆる木一ツありけるを
いかゞせんと三人せんぎしけるが枯木
でさへ栄ゆるものを我ら三人兄弟
ぢうぢうとして栄へんことを
悟りて枯木を切ずして
共に栄へぬるとぞ
いへり



呉猛

呉猛八歳にして孝行の人なり家ひんぐ
なれども父母を養ふこと
いとねんごろなり。されども
蚊多くして父母を悩ますこと
安からず。猛これを悲しみ
恐らくは父母の膚を
咋ん事を。惟悵然として
涕泣す。ある夜蚊
いよ〳〵多く集りて
猛が身を刺す。猛
堪忍して敢て
払はず。蚊
猛が身を
刺して
血を
飽
食
す
る
を
待
て
父
母
の
膚
に
就
く
を
追
ふ
。
蚊
猛
が
孝
心
を
感
じ
て
敢
て
父
母
を
刺
さ
ず
。
猛
が
身
を
刺
す
こ
と
多
し
と
雖
も
猛
が
孝
心
を
感
じ
て
敢
て
父
母
を
刺
さ
ず
。
猛
が
身
を
刺
す
こ
と
多
し
と
雖
も
猛
が
孝
心
を
感
じ
て
敢
て
父
母
を
刺
さ
ず
。

国立国会図書館　タイトル『善悪かゞ見草』　請求記号 858-3
ガラス使用

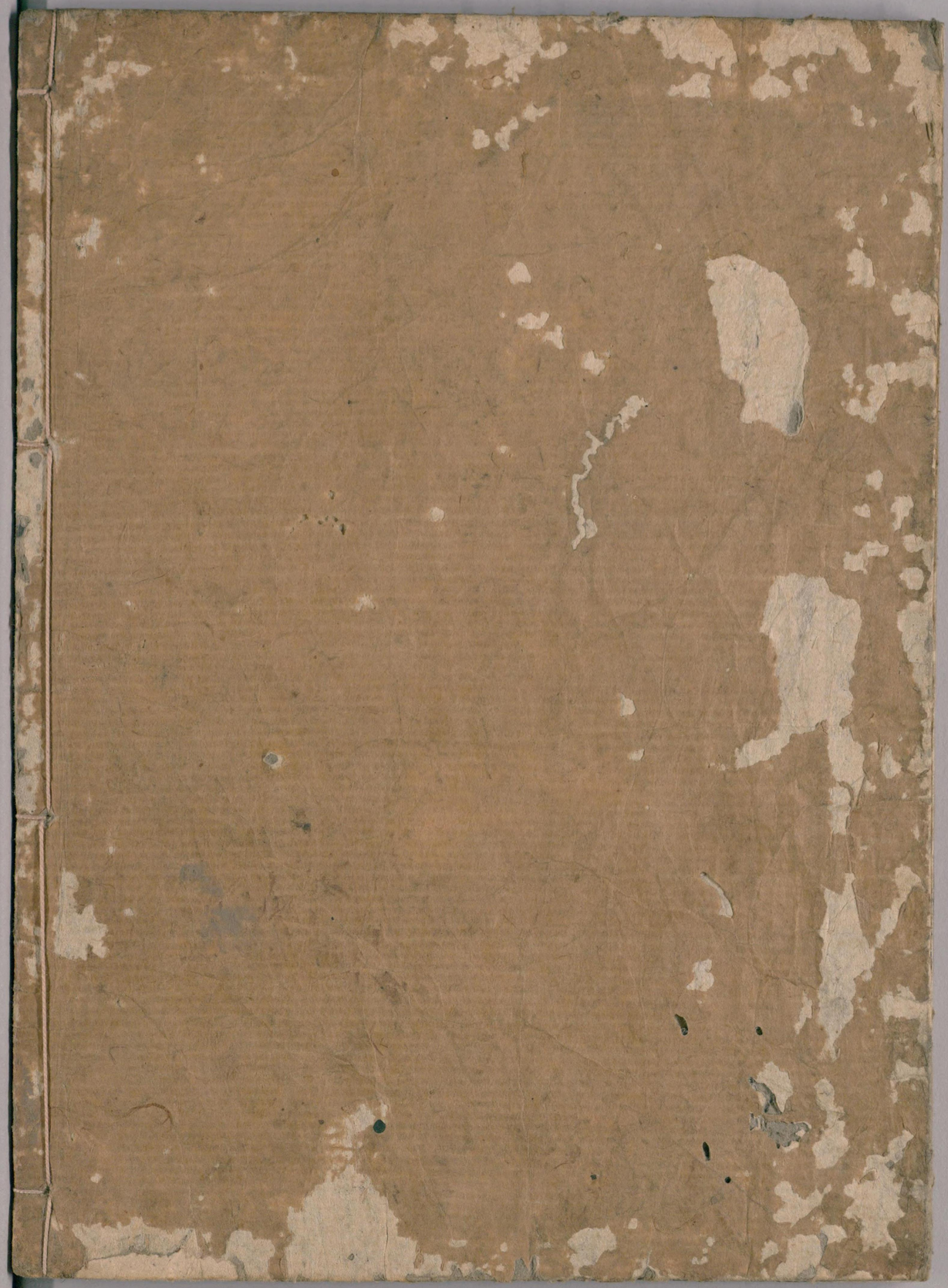
858
3

山谷

山谷八宋の代乃詩人也今に絶りて詩人乃祖
師とそ今りおもふ人多くこれを學ぶ故に
書を讀まざる人もみだりに山谷の大小佞
文をあつめて毎句毎字一をものて是を
てゐるなり是天下にわらはるゝ基也山谷乃
ごとくの人ハよ〳〵ありてこそ多の
書生孝悌忠信の
婢妾蟲ノ無ノ人

亀田畫像之

国立国会図書館　タイトル『善悪かゞ見草』　請求記号 858-3
ガラス使用



国立国会図書館　　タイトル『善悪かゞ見草』　請求記号 858-3

ガラス使用